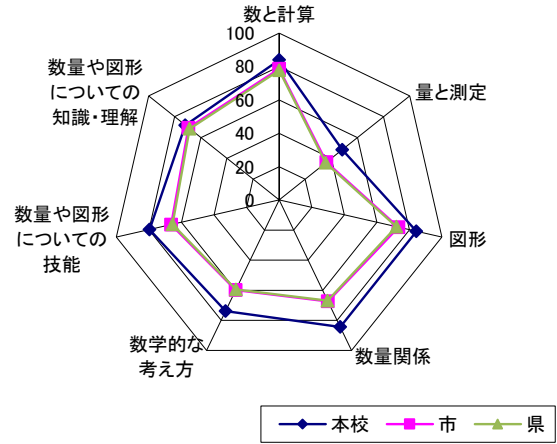


宇都宮市立瑞穂野北小学校 第5学年【算数】分類・区別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	83.9	78.6	77.7
	量と測定	48.4	36.3	35.7
	図形	84.4	73.3	72.1
	数量関係	84.4	67.4	66.9
観点	数学的な考え方	73.8	59.9	59.4
	数量や図形についての技能	79.6	66.3	65.5
	数量や図形についての知識・理解	71.9	69.4	68.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	<p>○県や市の結果をやや上回った。</p> <p>○ケアレスミスが目立つが、基本的な計算問題はできている。</p> <p>●小数と整数の関係について理解できていない児童が多く、設問の正答率は市や県の正答率を下回っている。</p> <p>●倍で表された数量関係の場面を式に表す問題は、無回答はないが、31.3%の児童が正しく立式できていなかった。</p>	<p>・朝のチャレンジタイムで既習の計算練習に取り組む等、計算力を高めていく。</p> <p>・色々な文章問題に取り組み、丁寧に読み説いていくことで、文章問題に慣れさせる。また、授業の中でも、どうしてそう考えたのかなど理由を文章で表す活動を取り入れていく。</p> <p>・レディネステストで課題が見られた児童に対しては、授業前の家庭学習で個別の課題を出し、定着を図っていく。</p>
量と測定	<p>○県や市の結果を上回った。</p> <p>●教室の机のおよその面積を推測する設問の正答率が県や市の平均を下回っていた。無回答児童はおらず、明らかに間違っているものを選ぶ児童もないが、単位の変換ができず正しい答えを見つめることができていなかった。</p>	<p>・長さや重さを実際に測る活動などを学習の中で取り入れていくなどして、量の感覚を身に付けさせていく。</p>
図形	<p>○県や市の結果を上回った。</p> <p>●図形に関する全ての設問の正答率は県や市の平均を上回っているが、立方体の展開図に関する設問に関しては、一部の児童が内容について理解できていないことが分かる。</p>	<p>・授業の中で、実際に折ったり切ったりする活動を通して、図形の感覚を育てていく。</p>
数量関係	<p>○県や市の結果を上回った。</p> <p>○図や表から、表に当てはまる数を求めたり、2つのグラフについて正しくない説明を選ぶ問題の正答率は100%であった。</p> <p>●1つの式に表した考え方を説明する問題では、定着度に二極化の傾向が見られる。</p>	<p>・文章問題では、数字や言葉に線を引くことで、その数は何を表しているのか、何を求める問題なのかを丁寧に確認しながら図に表わして考える練習をしていく。</p>